



編集・発行

町田市男女平等推進センター
運営委員会
町田市原町田4-9-8
町田市民フォーラム3階
TEL 042-723-2908

第20回まちだ男女平等フェスティバルが開催されました ～ひとりの悩みはみんなの課題 つながり拓こう平等社会～

2月1日(土) 2日(日)

去る2月1日・2日、町田市民フォーラムにおいて 第20回まちだ男女平等フェスティバルが開催されました。ホールでは20回記念オープニング企画、展示コーナーでは20回記念展示や「みんなで歌いましょう！」が開かれ、賑やかな2日間となりました。実行委員会企画が6企画、登録団体企画が15企画、協賛企画が1企画、会場にズラリと並んだ個性豊かな登録団体パネル展示も大変好評で、のべ2000人以上の参加者を迎えて盛況のうちに終了しました。紙面の都合上、実行委員会企画のみをご報告します。

基調講演

「支え合いと連帯で目指すジェンダー平等社会」



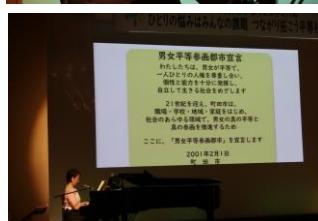
講師

東京大学名誉教授、
社会学者
上野千鶴子さん

<講演より>

- 日本の男女平等ランキングが121位と年々下がっているのは日本がどんどん悪くなっているのではない。単に変わらなかっただけ。各国が男女平等を進める中で、日本は取り残されたのです。
- 特にひどいのが政治分野。日本の女性は投票に行くが立候補をしない。家庭内外からの抵抗が大きい。だから女性議員が極端に少ない。「候補者男女均等法」にはペナルティがないので効果なし。
- セクハラは権力の濫用による人権侵害。被害者が勇気を持って声を上げたことで少しずつ変わっている。一人一人の小さな行動が重要。その積み重ねの結果で、制度も法律も変わっていく。

フェスティバル20回 記念企画



ピアノ演奏とスライドで
振り返る「20回の歩み」



にぎやかな展示コーナー

学ぶことは平和の一歩

～元カンボジア難民
ポンナレットさんからの発信～
久郷ポンナレットさん
(ノンフィクションライター)



僕がゲイでよかったこと
～誰もが生きやすい社会とは～
平良愛香さん

(日本キリスト教団川合教会主任牧師)



映画「愛と法」
弁護士夫夫カズ・フミ



もう一つの縁切り『満徳寺』
-寺への駆け込みと妻からの離縁-
彦由三枝子さん
(政治経済史学会会長)



ジェンダー平等～だれもが自分
らしく生きられる社会を～
白井聰さん
(京都精華大学人文学部
総合人文学科専任教員)



男女平等推進センターから

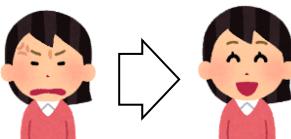
報告

子育て期の アンガーマネジメント

実施日：12月7日（日）

子育て中は、仕事と家庭の両立で忙しくなり、時には子どもやパートナーに不満やイライラが募ってしまうことも。そんなイライラや怒りとの上手な付き合い方を学びました。

「もやもやしていた自分の中の消化できない感情への対処方法がわかって、すっきりできました。」や、「怒りに対しての付き合い方がわかり、早速夫婦でとりくんでみようと思いました。」などの感想をいただきました。



報告

女性のための就職準備セミナー ビジネスメイクセミナー&面接対策

実施日：2月14日（金）

前半のメイクセミナーでは自信を持って選考に臨めるような、自分を引き立てるメイクを学びました。後半の面接対策では、再就職の際に役立つ面接時のマナーや心構え、良く聞かれる質問の考え方など、実践を交えて学びました。

「初めてのセミナー参加でしたが、メイクも面接対応も改めて考えるとても良い機会でした。」や、「自主練を行い、学んだことを身に付けてたいです。」などの感想をいただきました。



シネマでトーク

素敵な映画をみて、
あれこれ楽しく話しませんか！
場所：フォーラム3階 活動室

無料

*4月14日（火）14:00～112分
「タイピスト」 2012年（仏）
1950年代のフランスを舞台に、
タイプライターの早打ち大会にすべてを懸けるヒロインの物語。

*5月12日（火）14:00～110分
「小さな中国のお針子」
2002年（仏・中）
文化革命の中国を舞台に、西洋文学から影響を受け、自らの運命を切り拓こうとする少女の成長を2人の青年を通して描く。

*6月9日（火）14:00～130分
「ドリームガールズ」
2006年（米）
女性ボーカルグループ「シュープリームス」の実話を基に華やかショービジネス界のサクセストーリーと、その裏にある人間ドラマを描き出す。



昔の名刺を持ち歩いたり、肩書きを自慢する「終わつた人」にならず、人生を楽しむための具体的な「たしなみ」をアドバイスする書とも言えます。団塊の世代が70歳代に突入したので、日本中で70歳代があふれています。元気な方も多いはず。その世代に読んでほしい書物の一つだと思います。書の中に、「たとえ明日は世界が滅ぶとも私は今日、木を植える」とあります。このような心意気を忘れないようにしたいですね。（K）

「呪いの言葉の解き方」 上西 充子 晶文社
私達の思考と行動は、無意識のうちに「呪いの言葉」に縛られている。職場でも家庭でもこうありなさいと。「呪いの言葉」は簡単に私達を縛ってしまう。なぜなら私達は言葉を通じてものを考え、状況を認識し、自分の気持ちを把握するから。また悪意を持って発せられる言葉もある。では私達を縛ろうとする「呪いの言葉」とはどんな言葉なのか、発せられる言葉の裏には何が隠されているのかを著者は具体例を示して解説している。とても胸のすく気持ちになり、貴方は悪くないと励まされるお薦めの一冊です。（I）

蔵書の紹介

【センターでは、図書の貸出やDV・ビデオの視聴ができます！】

坂東真理子

小学館

「女性悩みごと相談」 ☎ 042-721-4842

☆女性のための身近な相談室として、電話による相談を受けています。
DVやセクハラ、夫婦間問題、LGBTに関することなど
一人で悩まないで相談してみませんか。



相談時間 月・火・木・金・土曜日 9:30～16:00
水曜日 13:00～20:00

（第3水曜日・日・祝日、年末年始はお休みです）

「法律相談」予約は「女性悩みごと相談」にて受け付けます。

☆女性弁護士が担当します。

相談日 毎月 第2・第4木曜日 14:00～16:00
(祝日・年末年始はお休みです。)

